

第9回戦術委員会確認事項

2013年5月22日

全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より第9回戦術委員会を開催し、現時点までに引き出した回答を集約するとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 金属労協全体では、3,282組合のうち2,748組合が要求を提出し、2,248組合が回答を引き出している。これまでに回答を引き出した組合は、要求提出組合の81.8%となり、前年の83.4%を若干下回っている。
2. 賃金構造維持分・賃金改善分を明確に区分できる1,650組合のうち、賃金構造維持分を確保した組合は1,523組合(92.3%)となり、前年同時期の90.7%から若干改善している。このうち賃金改善分を獲得した組合は305組合(18.5%)となり、前年同時期の302組合(17.2%)と同程度となっている。
3. 一時金は、前年と比較できる1,485組合のうち、747組合(50.3%)が前年実績に上積みを果たした。また、年間5カ月(半期2.5カ月)以上獲得した組合が365組合(24.3%)、4カ月以上5カ月未満が612組合(40.7%)となった。また、4カ月未満が525組合(35.0%)と前年同時期の596組合(36.5%)から若干改善している。平均獲得月数は4.22カ月となり、前年同時期の4.17カ月上回っている。
4. これまでの回答引き出し状況を踏まえ、各組合は、産別指導の下、要求実現に向けて粘り強く交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。
5. 第10回戦術委員会は、6月26日(水)10時より開催する。

以上